

2013.11  
130  
号

# リベラ

リベラ 2013.11 130 号

発行所 公益財団法人公害地域再生センター(あおぞら財団)  
〒555-0013 大阪市西淀川区千舟1-1-1(あおぞらビル)4階

## 特集:大阪市内に自転車レーンが初登場! 吉田長裕...1

みんなで走って、はや5回「御堂筋サイクルピクニック」...2

自転車事故...3

道路環境市民塾開講～乗物は単なる移動手段ではありません～...4

タンDEM自転車の魅力を伝えたい 宇都宮一成...5

大阪でタンDEM自転車を楽しむ会近況レポート...6

DIYで住宅改修「ねおほ」ができました...7

地域交流スペース「あおぞらイコバ」ぜひご利用を...8

【新連載】復興まちづくりの現場...9

公開質問状...9

忙中一筆 生熊ツギ子...10

西淀川記憶あつめ隊:酒井政一さん、美代子さん...11

ぶらりとゆるりと西淀川めぐり 三度の飯よりサンドです...12

【新連載】町工場の夕日～御幣島のひなやん編～...12

あおぞら広場...14



みんなで守る!みんなで助かる!パート2災害時要援護者の避難を一緒に考えよう!望海地区(明石)第1回セミナー(2013.8.30)



京都精華大学の環境教育実習を受け入れました。西淀川公害訴訟で、自動車による健康被害を認める判決を書いた裁判長である、井垣敏夫さんにヒアリングすることができました。(2013.9.4)

あおぞら  
フォトギャラリー



お知らせ

【公害資料館ネットワーク主催】

●わくわく広げよう公害資料館の"わ"  
公害資料館連携フォーラムin新潟

日時:12月7日(土)～8日(日)

会場:万代市民会館

(〒950-0082 新潟市中央区東万代町9番1号)

電話:025-246-7711)

※環境省「平成25年度 地域活性化を担う環境保全活動の協働  
取組推進事業」全国事業

【西淀川から住まいと暮らしを考える環境住宅研究会主催】

●御幣島芸術祭(みてアート)

日時:12月21日(土)～22日(日)11:00～16:00

会場:あおぞらイコバ、ねおほ、カマタ商店、ほか

【あおぞら財団主催】

●空気のごれ調べ

日時:12月26日(木)10:30～12:00(受付10:10)

会場:エルモ西淀川



ビルあおぞら

【1F】地域交流スペース「あおぞらイコバ」

会議、ギャラリー、コンサート、上映会などにご利用いただけます。

午前:1,000円/午後:1,300円/夜間:1,300円/全日:3,000円

【5F】西淀川・公害と環境資料館(エコミュージズ)

西淀川公害や環境について、地域の歴史などが知りたい人はぜひお越しください。

開館日 月曜日と金曜日(10:00～17:00)／要事前電話予約

●いずれも、予約・お問い合わせは4F事務所へ



あおぞら財団とは

1960年代から問題となった大気汚染公害によって、多くの人が健康被害を受けました。その責任を問う西淀川公害裁判(1978～1998)では公害患者が勝利しました。患者は「手渡したいのは青い空」を願い、裁判の和解金の一部を使って1996年にまちづくり組織・あおぞら財団を立ち上げました。まちづくり・資料館・環境学習・公害患者の保健・国際交流の事業を行い、持続可能な地域づくりに取り組んでいます。  
〒555-0013 大阪市西淀川区千舟1-1-1あおぞらビル4階 (TEL) 06-6475-8885 (FAX) 06-6478-5885 電子メール:webmaster@aozora.or.jp http://aozora.or.jp/



夏は、インターンの大学生が大活躍。今年には11名を受け入れました。矢倉緑地公園のさわやかな風が似合いますね。(2013.8.21)



会員・寄附募集

あおぞら財団への寄附や賛助会費は、税制上の優遇措置があります。

●賛助会員 会員の方には機関紙などをお送りします。

【年会費】個人:年一口5,000円、

学生:年一口2,000円、

法人・団体:年一口10,000円

●会費・寄附の振込先

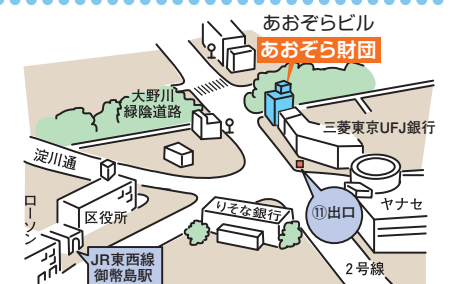
\*郵便振替口座 00960-9-124893

加入者名:あおぞら財団

\*三菱東京UFJ銀行 歌島橋支店

普通 3764689 口座名義:あおぞら財団賛助会員

りそな銀行の専用の口座は閉鎖いたしました。ご不便をおかけしますが、ご了承ください。



- JR東西線御幣島駅①出口すぐ
- 阪神電車姫島駅より徒歩10分
- JR神戸線塚本駅より徒歩15分



特集

# 大阪市内に 自転車レーンが初登場！

大阪府立大学大学院工学研究科准教授

吉田 長裕

レーンが検討されるようになったのは、2012年11月に「安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン」が警察庁・国土交通省から発出されてからです。すなわち、大阪では歩道通行が可能となった時から実に42年後の転換点だったわけです。



ママチャリも矢羽根に沿って車道を通行

が途切れな  
いように矢  
羽根型の路  
面表示が示  
されている  
こと、等の特  
徴がありま  
す。自転車  
レーンの交  
差点処理に  
関しては、ま  
だ決まってい  
ないこと  
や継続して

間でも車線内での共有を促す矢羽根型の路面表示が一定間隔で示され連続性が確保されていること、②左折専用車線のある交差点部では自転車と左折自動車の巻き込み事故を防止するために1列に並ぶように路面表示等に工夫がされていること、③御堂筋や堺筋の大きな交差点内にも自転車の通行位置



本町通と堺筋の交差点には通行位置と進行方向を示す矢羽根の路面表示

検討すべき点が多く残されている中、本事例は着実に前進した事例と言えます。今後は、自転車利用者との左側通行等のルール遵守が浸透し、安全・快適な自転車ネットワークが拡張されていくことを期待しています。

**導入の経緯**  
2013年9月20日、大阪府中央区本町通りの御堂筋・堺筋間に市内初の自転車レーンが出来ました。これは大阪の都市交通の歴史に残る出来事といっても過言ではありません。これまで主に歩道上を歩行者と共有する形で扱われてきた自転車レーンが、本来の原則に基づいて車道上の自転車レーン(自転車専用通行帯)を走行するという転換点を迎えたのです。とくに、大阪の都市交通における自



本町通りに導入された市内初の自転車レーン

転車分担率は、2010年には23.5%と自動車の約2倍に達するようになったにも関わらず、その通行空間の整備は思うように進んでこなかったのが実情なのです。

現実には歩道のある道路では、多くが歩道上を通行し、時には高速で走行している場合もあります。歩道の通行が許可されたのは、1970年の道路交法等の改正によるもので、交通事故多発への応急処置として実施されました。大阪市では、当時のオイルショックやバイコロジープームなどの



左折専用車線での路面表示等の工夫

影響もあり、1973年には端末交通手段としての自転車利用を推進し、歩道上を歩行者と自転車と共有する自転車歩行者道が主に整備されました。国の自転車政策の大きな転換を迎えたのが2008年の国土交通省、警察庁による「自転車通行環境整備モデル地区」事業です。全国98箇所、自転車通行施設の総延長約270kmのうち約1割が自転車レーンとして実験的に整備されました。その後、大阪府下で自転車

みんなで走って、はや5回 大阪モビリティウィーク & カーフリーデー 2013

## 御堂筋サイクルピクニック

歩行者も自転車も安心して通行できる環境づくりを目指して2011年10月にはじまった「御堂筋サイクルピクニック」(主催:自転車文化タウンづくりの会)の活動が9月22日(日)の開催で5回目を迎え、アピール走行には330人が、全体では約600人が参加するイベントとなりました。

大阪のメインストリートである御堂筋の車道を多くのサイクリストが走行することで、自転車の適正な利用や自転車レーンの設置をアピールするイベントです。あわせて中之島公園では、特設ステージでファッションショーや輪行講座をおこなったり、自転車の適正利用の啓発やカーフリーデーのブース、自転車店や雑貨店、飲食店による屋台を設置するなどしました。

1回目の開催から、企画運営はボランティアによる「サイクルピクニッククラブ」でおこなってきました。この間、東西を走る本町通に自転車レーンができた(9月)、11月には御堂筋の側道に自転車通行空間を確保し、歩行者等の安全性を確認する社会実験がおこなわれます。自転車をとりまく環境はこの2年の間に変化しつつあります。御堂筋サイクルピクニックの活動も、少なからずその変化の要因になっているかもしれません。楽しみながら、自分の意思を社会にアピールできる機会として、どうぞみなさんもサイクルピクニックにご参加ください。



ホームページ: <http://cycleweb.jp/cyclepicnic> フェイスブック: <http://www.facebook.com/cyclepicnic>

# 自転車事故

近年、自転車に関する交通事故が問題となっており、特に自転車と歩行者との事故が急増しています。大阪府下では、自転車事故は平成16年をピークに減少傾向の反面、対歩行者事故は10年前と比較すると3倍増となっています(図1)。また、大阪府民アンケート調査結果(図2)によると、3/4(75%)の人が「自転車の危険な運転・行為で事故にあったり、事故になりそうになった経験がある」と回答しています。その行為の7割が「歩行者のすぐそばを無理に通過する運

転」「かなりの速度で通過する運転」と回答しています。こうしたことから、多くの人が、歩道などでスピードを出して走る自転車に対して危険を感じていることがわかります。本来、自転車は軽車両のため、車道走行が原則で、例外として、歩道を走る場合は徐行する必要がありますが、そうしたルールを守らない人が多いのではないのでしょうか。そうした中で、自転車で走行中に、歩行者等にケガを負わせる、または死亡させるなどの大きな事故が増えています。自転

車で事故を起こすと、加害者として民事・刑事の二つの責任を問われます。例えば、事故を起こしたのが児童であっても、高額の損害賠償が課せられることも少なくありません。こうした悲しい事故を起こさないためにも、自転車に乗る人は、まずはルールを知ることが大切です。また、あわせて走行環境を整えることも重要です。現状では、「車道を自転車で行くのはこわい」と考える人も多くいでしょう。大阪市内では、2013年9月に初めて車道上に自転車レーンが整備されました(P1(2参照))。一方で、車道を共有する自動車ドライバーにも、自転車の走行ルールを知ってもらう必要があります。路上駐車などは車道を走行する自転車にとっては危険な障害物です。自転車は「環境に優しい乗り物」ですが、使い方を間違えると「危険な乗り物」です。歩行者・自転車・自動車それぞれにとって安全に利用できるようになればと思います。

図1 自転車事故経年推移

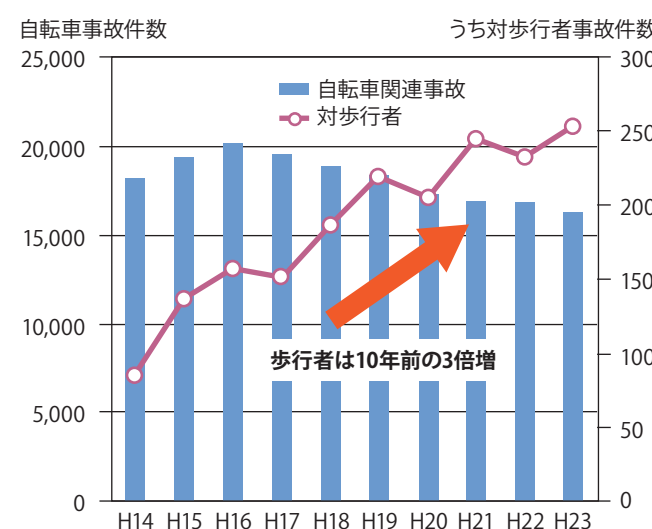
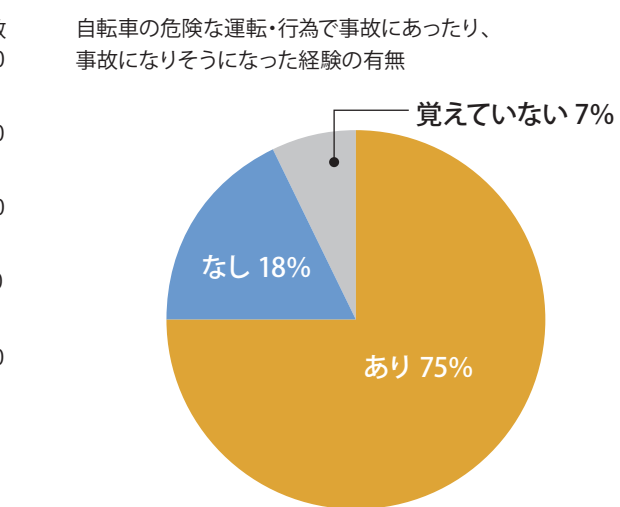


図2 自転車の危険な運転・行為に関する認知度調査



【府民アンケート調査(ネットリサーチ)】  
 ・実施期間:平成24年7月31日~8月9日  
 ・対象者:15歳以上の府民居住者2,003人(男:792人、女:1,211人)

出典:「自転車安全利用推進のための重点行動指針(H25.1):大阪府交通対策協議会」より

## 【自転車保険】

自転車であっても事故を起こせば、自分が怪我をするだけでなく、歩行者に怪我をさせたり、財物を壊したりするなど危険が潜んでいます。自転車事故でも被害の大きさにより数千万円の賠償金を支払わなくてはならない場合があります。自転車保険は、自転車搭乗中の事故におけるご自身のケガの補償や相手にケガを負わせた場合の損害賠償に備えることができます。補償する範囲や保険料額など様々なタイプのものがあります。

## 【TSマーク付帯保険】

自転車安全整備士による点検、整備を受けた安全な普通自転車であることを示すTSマークに付帯した保険です。詳しくは、公益財団法人日本交通管理技術協会ホームページ <http://www.tmt.or.jp/index.html>まで



このマークのある  
自転車安全整備店でもらえます

## 【自転車事故と保険について】

一般社団法人日本損害保険協会HP「自転車事故と保険のページ」  
<http://www.sonpo.or.jp/protection/jitensya/>

## 第9期 道路環境市民塾開講

### 乗物は単なる移動手段ではありません

道路環境市民塾による企画運営で、連続講座『交通まちづくりイロイロ』を開催しました。バス、自転車、LRT(低床型路面電車)のそれぞれの交通手段について、今『旬』のテーマについて、講師のお話を聞いた後、参加者で意見交換を行いました。

路線バス編では、福祉やまちづくり、子供にとって公共性を養う教育の場、利用者同士の交流の場になるという視点からバスの価値を考えました。バスの統廃合が各地で進んでいますが、財政面だけで判断して良いのかという疑問からです。

自転車編では、自転車の加害に対する高額賠償の問題を取り上げました。自転車が、歩行者を死亡させる凶器に成り得ることを自覚している人は少ないと思います。新聞記者と弁護士による報告と会場での意見交換から、①マナー教育、②自転車関係の規則の整備、③自転車



LRT編 ワークショップの様子

道の整備の推進が大切だと会場で共有しました。LRT(低床型路面電車)編では、計画が、まちづくりと住民参加・合意形成の場として活用できることを欧米も含めた各地の事例を下に学びました。大阪を走るLRT仮想計画の住民説明会に見立てて参加者同士で意見交換をするなど、交通まちづくりへの市民参加を活発にすることを目的とした道路環境市民塾らしい講座になりました。

【道路環境市民塾とは】  
 道路・交通環境に関する政策づくりや各地域でのまちづくりを担う人材育成のための参加型講座。2003年開講で、ボランティアが企画・運営をしています。今年度はあおぞら財団環境フロンティア講座として開講。企画運営にあたる運営委員募集中。  
[http://aозora.or.jp/katsudou/machi\\_dukuri/shiminjyuku](http://aозora.or.jp/katsudou/machi_dukuri/shiminjyuku)

## 連続講座・交通まちづくりイロイロ～バス・自転車・LRTより～

- 第1回:【総論編】交通まちづくりイロイロ
- 第2回:【路線バス編】路線バスから生まれる様々な物語と仕掛けづくり  
 講師:松村暢彦氏(大阪大学大学院工学研究科ビジネスエンジニアリング専攻都市再生マネジメント領域 准教授)(第1、2回とも)
- 第3回:【自転車編】自転車事故～訴訟事例と報道の視点から学ぶ～  
 講師:西村浩一氏(毎日新聞編集委員)、中川元氏(弁護士)・針原祥次氏(弁護士)
- 第4回:【LRT(低床型路面電車)編】  
 市民はLRTをつかってまちをどう変えてゆくのかわかるか  
 講師:松原光也氏(京都大学大学院都市社会工学専攻特任助教)



## 大阪でタンデム自転車を楽しむ会 近況レポート

タンデム自転車を大阪で普及させようと2012年に立ち上げた「大阪でタンデム自転車を楽しむ会」。  
メンバーからの近況をどうぞ!

### ■海外をタンデム自転車で…

CVJでは「自転車の楽しさを多くの人に…」を合言葉に設立以来5年余りの間に、さまざまな活動を行なっていますが、その一つが、これまで4回実施した海外ランです。

タンデム自転車の利用は韓国ランに視覚障害者2名の参加希望があったのがきっかけで、昨年は韓国東海岸のランと蔚山市で視覚障害者のタンデム利用者との交流を行ない、今年も日本から視覚障害者4名と共に、台湾の支援メンバーの絶大な協力を得て、2泊3日の行程で現地の肢体不自由の方々4台の電動ハンドサイクルと共に台湾北部を1周する150kmのタンデムサイクリングを楽しみました。

自らの足で風を切り、その土地の空気を胸いっぱい吸い込みながら異文化に触れ、見知らぬ地で人々との交流を深める従来の自転車旅にプラス、走行中に会話を楽しみながら、旅の達成感を共有できるタンデムの旅をもっと普及できればと考えております。

### ■スポーツ部から生まれたチーム「TRI6 West」(トライシックスウェスト) 2016リオデジャネイロ パラリンピックをめざして



ワールドシリーズ横浜大会(2013年5月)

大西 健夫(スポーツ部長/TRI6West監督) <http://tri6west.daa.jp/>

パラトライアスロンにおいてTRI6は視覚障害者のカテゴリーです。この9月にロンドンで開催された世界パラトライアスロン選手権大会に34人のブラインド選手が参加しました。スポーツ部TRI6 Westからも今春のワールドシリーズ横浜大会でカテゴリー別優勝を果たした弱視白江淑浩選手とガイド田中相司選手も参戦しました。世界を認知する大きな一歩となりました。続いて弱視山田敦子選手とガイド畔上多恵子選手は来シーズンから海外参戦を決意しています。

世界を知る事がより日本代表に近づける。また日々のトレーニングは努力を裏切る事なく必ず実力を伸ばしていく。頑張れ敦子!! チームとしては新しい選手の育成にも力を入れています。今年はブラインド関口晃選手と盲ろう者の中田鈴子選手2名がトライアスロンデビューをしました。

これからも草の根活動を忘れる事なく地域と共に誰でもが参加出来るトライアスロン大会の開催を目指して歩みたいと思います。

事務局:あおぞら財団「ボランティア・会員募集中」

<http://www.tandem-osaka.com/> <http://www.facebook.com/osaka.tandem>

### 【大阪での公道走行実現に向けて「公開質問状」】

タンデム自転車は、本来、道路交通法により公道走行可能な自転車ですが、走行については、各都道府県の公安委員会の定めた規則に委ねられており、地域によって対応が異なります。全国では長野県、山形県、兵庫県、広島県、愛媛県、宮崎県で一般公道走行が可能で、順次増加してきています。

「次は大阪!」の心意気で、私たちは大阪府道路交通規則を改正して、府内で二輪のタンデム自転車が走行できるようにしてほしいと、大阪府議会の7会派に「大阪府内でのタンデム自転車の走行に関する意見書・質問票」を提出しました(回答締め切り7/10)。結果は「大阪府内でのタンデム自転車の走行については、条件付で賛成である」と5つの政党が回答しています(残り2つは無回答)。くわしくはホームページをご覧ください。今後、さらにこの取り組みを進めていきますので、応援よろしく願いいたします。

2人乗りのタンデム自転車。後ろ乗車できるユニバーサルな乗り人にやさしい空間・環境づくりへの席は視覚に障がいのある人も物です。この自転車が広がれば、とつながります。

僕

は地元愛媛に

ある「しまなみ海道」で、自転車を活用して地域を元気にする活動に関わっています。今では「自転車の聖地」とも言われているこの場所でも、ついこの前までタンデム自転車で走行することが出来ませんでした。私たちが「えひめ夢提案制度」という仕組みを利用して規制緩和を提案し、それが波及して愛媛&広島ともにタンデム自転車がOKになったのは、わずか3年前のこと。今ではタンデム車のレンタルサイクルも完備され、親子やカップル、友人同士で楽しんでる姿をよく目にするようになりました。



タンデム自転車で世界一周旅行(モザンビーク)2002年。右端が筆者

ユニバーサルに楽しむ

健康者も障がいのある人も一緒に風を切り、自然の香りに包まれて自転車の爽快感を楽しめるタンデム自転車。せっかく両県で走れるようになった

音や香りを充分に味わいました」と、毎年心待ちにしている人が多くいます。障がいのある無しに関わらず、ユニバーサルに楽しむこの集い。これからはひとりでも多くの人にタンデム自転車の魅力や面白さを伝えるために、継続して開催していきたいと強く感じています。

りで一緒にいられるしね!」僕よりもひと回り年上で、世界一周3年目だった彼らの姿はとて格好良く、なんだかすこくワクワクとさせられたのでした。その後、妻と世界一周旅行に旅立ち、当初4年間だった旅の計画は、気付くといつしか10年間に…。そして、最後に訪れた88ヶ国目の台湾で、タンデム自転車を「協力車」と表すことを知りました。そのとき分かった。10年間、二人でも同じ風景を見てペダルを漕いで来られたのは、「協力車」だったからなんだと。お互いを思いやりながら関係をはぐくむユニバーショナルツール、それがタンデム自転車の一番の特徴。このすばらしい乗り物が日本全国を走行出来るようになることを心から願ってやみません。あおぞら財団、そして大阪でタンデム自転車を楽しむ会のみならず、愛媛の地よりエールをお送りいたします。

のだからと、毎年3月には、みんなが集って走る「タンデム自転車まつり」を開いています。これは全国から30名ほどが参加して、しまなみ海道周辺を一泊二日で楽しむというもの。「人との出会いやふれあい」が楽しみ「目で見えなくても交わす言葉で風景を想像できるし、



タンデム自転車まつり(上島町生名島)2013年

ニューギョーランドで出会ったアメリカ人のカップルの言葉がきっかけです。「タンデム自転車っていいよ。いつもふた

も、僕がタンデム自転車で魅せられたのは、23歳の時、

宇都宮 一成(NPO法人シクロツーリズムしまなみ) <http://www.cyclo-shimanami.com/>

# タンデム自転車の魅力を伝えたい

~世界一周の旅から「しまなみ海道」で~





# DIYで住宅改修 「ねおほ」ができました

DIY(ディー・アイ・ワイ)。英語の Do It Your self(自身で作ろう)の略です。  
2010年春よりはじまった、あおぞらビル1階の地域交流スペース「あおぞらイコバ」の改修工事がきっかけで立ち上がった会があります。

通称 Green(グリーン)。正式名を「西淀川から住まいと暮らしを考える環境住宅研究会」といいます(事務局: あおぞら財団)。西淀川区内で環境に配慮した住宅作りを目指して活動しています。

そんな中、2012年10月頃より、区内の御幣島地区で元カメラ屋の住宅改修をお手伝いする機会に恵まれました。家主さんやそのご家族が集って、改修後の使い道をいろいろと出しました。子どもの集まる場や、アトイベントなどにも利用できるようにと、土間部分を大きくとるプランが採用されました。12月〜1月は専門業者に



梓組みのところをお願いし、その上で、2月に壁や天井、床塗りを「DIY講座」として、参加者を呼びかけ、素人集団で作業をおこないました。

養生・パテ塗り、けずり、漆喰塗りなど、慣れない作業に四苦八苦しつつ、講師の職人さんに教えてもらいながら、なんとか完成しました。

3月9日にお披露目会をおこない、この住宅「ねおほ」という名前になりました。今は、地域子どもセンターの活動や音楽ライブのイベント会場として利用されています。

「DIY」のよさは、一つの建物、空間が生まれ変わることを、自分の体で実感できること、今ある資源を活用するすべを知ること、完成後も愛着を感じることで、作業を通じて仲間ができること、など、いろいろ得るものが多いので、みなさんにもオススメです。 **☆**

**稲垣 達也さん(西淀川子どもセンター)**  
DIYに参加し、壁塗りなどをしたので、自分が作業した部分を見る度、愛着を感じます(笑)完成後も、ねおほにて「自歌持参」という誰でも参加できる音楽会を主催させてもらうなど、ご縁は続いています。訪れる度に変化しているショウウィンドウの飾りを覗くのも、楽しみの一つです。  
NPO法人西淀川子どもセンター <http://www11.ocn.ne.jp/~popins08/>



## 「ねおほ」にひとこと

**山本 延行さん(CASEまちづくり研究所)**  
初めて改修前の建物を見たとき、床も天井も間仕切りも何もなく「???」の状態でした。どんな空間が良いのかお話を伺うと、イベント、講座、たこ焼き屋などやりたいことは盛りだくさん!!今の建物の良さ(特に梁は立派)や建具を活かしながら耐震のことも考えてできる限りシンプルで使いやすい空間づくりに決めました。普通だったら工事は、業者まかせ。でも、できることはみんなでやった方が楽しいということで、漆喰塗りや床塗りなどみんなで一生懸命しました。失敗したところもあるけど、そこが愛着になるのかなと思います。今後この場所を使っていく中で、人が集う場所「ねおほ」として地域の笑顔が集まる場所になればと思っています。  
CASEまちづくり研究所 <http://www.case-jp.com/>



## 地域交流スペース「あおぞらイコバ」ぜひご利用を

あおぞら財団が入居するビルの1階の「あおぞらイコバ」はどなたにでも使っていただけるレンタルスペースです。最近では、こんな使い方も。利用者さんの声を紹介します。



～出会い、憩い、つながる場所に～  
<http://aozora.or.jp/ikoba>

あおぞらビル1階のイコバは会議、ギャラリー、コンサート、上映会等にご利用いただけます。  
午前:1,000円  
午後:1,300円  
夜間:1,300円  
全日:3,000円



**■仲間同士でフルートの練習**  
西淀病院友の会サークルのみなさん  
音がよく響くので、とてもよい環境です。「上手になった」と感じます(笑)。  
近くに国道がありますが、意外と静かですね。駅に近いし、便利です。照明と壁の雰囲気がいいため、気に入っています。



**■自転車試乗会ご利用の自転車店 上田裕太さん(WEDA)**  
毎月一回のペースでA-DEWブランドのスポーツバイクの試乗・展示会のために利用させて頂いておりますが、机、椅子はもちろん空調、インターネットの利用もできるので、非常に快適に使用させて頂いております。  
これだけの設備が整っているながら、利用料金も非常に安く、大変重宝させて頂いております。また、自転車の試乗会という点では、目の前に自転車専用道路があり、スポーツバイク初心者の方でも安心して試乗いただくことができることも非常に良い点です。  
<http://www.a-dew.com/>



「いま被災地はチャンスにあふれている！」

釜援隊協議会 黍原 豊

被災地では、以前から過疎高齢化や産業衰退などの課題が内在、震災を機にそれらは一気に進行し、復興の過程で避けては通れないものとして顕在化しました。その一方で被災地には、ボランティアや専門家といった人材、寄付金や

◆釜援隊協議会(釜石リージョナルコーディネーター)  
〒026-8686 岩手県釜石市只越町3-9-13 釜石市役所第5庁舎1階  
http://kamaentai.org/ Tel 0193-22-8600 / Fax 0193-55-6699



釜援隊は、市内の地域づくりの団体と共に活動。派遣先の三陸ひとつなぎ自然学校のメンバーと共に。(筆者左)

助成金等の資金など様々なリソースが集結。さらに地元からも復興に向けて立ち上がった人々も現れ、特に3年目に入り、地域の将来に目が向いている人々が増えているように感じます。タイトルに挙げたチャンスを感じたことが、私が釜援隊に参画した大きな理由の一つです。釜援隊とは、先に挙げたリソースを活かしながら、地域内外の連携を促進し、持続可能な地域づくりを下支えするコーディネーター集団。釜石市が今年4月に釜援隊を立ち上げ、現在14名が市内の地域づくりに関わる団体と共に活動しています。被災地が抱える課題を解決した先にある、釜援隊の日本の地域再生モデル形成への挑戦。今後、その現場の様子をお伝えしていきます。

### 公開質問状

あおぞら財団では、2007年大阪市長選挙より、地元・大阪の市長選・府知事選挙と国政選挙(衆議院・参議院)の際に、立候補予定者、又は、政党に対して、公害・環境問題に関する公開質問状を送付し、回答を公開しています。これは、選挙の争点として、なかなか環境問題が取り上げられていない状況の中、一石を投じたいという思いからはじめたものです。当初は、どの程度の回答が得られるのかを危惧していましたが、毎回、各候補者・政党から誠意ある回答をいただくことができました。

この間、東日本大震災(2011.3.11)により国全体の環境・エネルギー政策の方向性が問われたり、インターネット選挙運動の解禁(2013.4.15法改正)により多くの情報に触れることができるようになるなどの変化がありました。2013年7月に行われた参議院選挙に際しても実施し、各政党より回答いただきました。回答いただいた各党の皆様、ありがとうございます。今後も、こうした回答が投票する際の判断材料のひとつとなるよう、さらに、一歩踏み込んだ認識や施策につながるようになればと思います。あおぞら財団も環境NPOの立場から、引き続き問題提起をしてゆければと思います。藤

公開質問状URL <http://aozora.or.jp/katsudou/iken/shitumon>

# 忙中一筆

## 看護師として働き続けた43年間は、かけがえのない宝

あおぞら財団とつながりがある人からのエッセイを寄せてもらっています。ぜん息患者さんに寄り添ってきた生熊ツギ子さんです。

私は昨年末に西淀病院のざと診療所を定年退職したのですが、掛け43年間の勤続でした。19歳で旧姫島病院に就職して、結婚子育てしながら進学、看護師として働

き続けた43年間は私にとって、かけがえのない宝です。  
**長男が喘息に。公害裁判に加わる**  
就職当時は西淀川区が「日本一大

気汚染のひどい町」というのを知りませんでしたが、公害のこころや喘息の病気も知らず、日中は元氣そうに見える患者さんが夜間や明け方に発作で救急受診されるのが不思議な

くらいでした。患者さんの病気を通じて学ぶことで、大気汚染の影響や喘息の怖さを知りました。そのうち長男は1歳過ぎ頃から風邪をひいたと思ったらひゅうひゅうゼロゼロと喘息発作が出るようになり、気管支ぜんそく3級の認定が下りました。長男は喘息の重積発作で何回も入院を繰り返し危うく命を失いかけるような苦い経験もあります。公害裁判が始まった時、長男は3歳でしたが、主治医や弁護団の勧めで原告団に加わりました。私は原告代理人として患者さんや弁護士・患者会・支援者の方々と、街頭でのビラまきや署名宣伝活動、裁判所での傍聴、証人尋問等色々な経験をさせてもらいました。医療班では厚生労働省の前で座

り込み中の患者さんの喘息発作で点滴ボトルを樹につるして応急処置をしたことは貴重な体験です。裁判勝利に向けて弁護団や研究者・病院や民主団体の支援患者さんたちの命を懸けた活動ぶりは忘れることはできません。  
**素晴らしいスタッフとの仕事に感謝**  
又西淀病院小児科では喘息患いの為のアレルギー特診を行っていました。その患者さんの保護者と「トビウオ会」の患者会を作り、西大阪市教職員組合の公害対策委員会の先生方と喘息児サマーキャンプを合計23年間実施しました。毎年夏休み前になるとサマーキャンプは病院の各職種スタッフ・学校の先生方と実行委員

会形式で準備から運営まで4泊5日間を成功させるため必死でした。当時私は小児科勤務でしたが素晴らしいスタッフと一緒に楽しく仕事できたことを感謝しています。退職後、趣味であおぞら財団イコバにお世話になり、改めてあおぞら財団のできた経過とその先見性、発想の豊かさに感動したのを感じ出しています。財団では公害反対運動や裁判の歴史なども資料として残されていてとても心強く思います。そして環境問題やまちづくりの視点で色々な取り組みや活動を、あちこちに発信されています。西淀川区の誇れる財産としてこれからも発展していただくことを期待しています。



生熊 ツギ子 (いくま つぎこ)

西淀病院に看護師として43年間勤務、昨年退職。趣味はコーラスとフルート。当時3歳だった長男は西淀川公害裁判の最年少原告で、現在、音楽家として活躍中。

# 西淀川記憶あつめ隊

Vol.7

西淀川区は、淀川、神崎川に挟まれ大阪湾に面しており、昔は繰り返し大きな水害に見舞われてきました。今回は第二室戸台風の被害にあわれた酒井さん夫妻のお話です。



酒井政一さん、美代子さん  
第二室戸台風の際、お二人の後ろの戸の上まで浸水したそうです。

酒井 政一さん  
美代子さん

2013年9月12日  
聞き取り

◆第二室戸台風の上陸  
酒井政一さんは93歳、美代子さんは84歳、大和田在住のご夫婦です。酒井さん夫婦は昭和36年（1961年）に西淀川区大和田

が決壊しました。近所の人の「水が来た」という呼びかけを聞き、酒井さん家族は自宅2階に避難しました。酒井さん宅の上まで浸水したそうです。



水没した街をボートで行き交う人々（大和田小学校付近）『西淀川今昔写真集』より

◆浸水後は2階で生活  
避難所になっていた大和田小学校に1日避難したそうです。が、避難所でのストレスのためか子どもさんのお腹の調子が悪くなってしまい、安田病院に入院することになってしまいました。そのため、その後は自宅の2階で過ごしました。自宅に浸水した水は、1週間ほどひかなくなかったそうです。「水がひいた」と思って安心したら、翌日の朝にはまた水に浸かっている」といふ具合で、干潮、満潮のたびにどんどん水が出たり入ったりしました。移動の際に

は、ボートやドラム缶を使った筏などを利用しました。浸水している間、一番困ったのはトイレ。お隣の2階にトイレがあったため、屋根越しにお隣まで行ってトイレを借りたのとこのことです。当時は汲み取り式のトイレということもあり、浸水してきた水は衛生的に大変汚かったようです。

## 第二室戸台風による西淀川の被害

第二室戸台風は、昭和36年（1961年）9月16日に大阪を襲った台風です。大阪湾の高潮OP+4.1メートルに達し、市内は西大阪を中心に全半壊流失1,726戸、死者6人、負傷者682人におよびました。西淀川区では神崎川が氾濫して大和田・出来島・御幣島では家屋のほとんどが床上浸水の被害を受けました。

災害に備えるために、過去の災害の体験を後世に伝えていく必要があります。そのため、現在、あおぞら財団では、災害の記憶の掘り起こしを進めています。お話を聞かせていただける方は、お気軽にあおぞら財団（06-6475-8885）までご連絡ください。

※この活動は公益財団法人JR西日本あんしん社会財団の助成でおこなっています。

に家を購入し引っ越ししてきました。当時の大和田は、道路も少なく静かな土地だったそうです。第二室戸台風は、同年9月16日お昼頃に西淀川に上陸しました。酒井さん夫婦は引越してきた年に被災したのです。お昼過ぎに、古河鉱業近くの西島川の堤防

しました。「トイレの大切さをみんなに言いたいそうです。今の西淀川では大きな水害は減っていますが、それでも、大雨が降るとまた第二室戸台風の時のように浸水するのではないかと不安になるそうです。現在、都市化が進んでいる西淀川で第二室戸台風と同じような被害が起きたら、大バニックになるのではないかと思います。西淀川の人々の水害に対する粘り強さを感じたヒアリングでした。

谷内久美子  
（日本学術振興会特別研究員）

(イラスト:とりやまひろこ)

## ぶらりとゆるりと西淀川めぐり

三度の飯よりサンドです



### ドーナツ屋さんの「ベーグルサンド」 ドーナツショップwacca

ここはかわいいドーナツ屋さん。そしてお昼だけ数量限定のベーグルサンドがあります。どちらも「輪っか」ということですね。ベーグルは表面カリッと中はモチモチ。お野菜いっぱいボリューム十分。ドリンクセットもあってお得です。食後のデザートはもちろんだーナツで!

所 西淀川区御幣島1-7-24  
休 水曜日  
営 11:00~19:30  
☎ 06-6475-5575  
HP <http://www.wacca.info/>

自家製ベーグルサンド  
ランチタイム限定(11:30~14:00)  
・スモークサーモン&クリームチーズ  
・チキン&マスタードオニオンソース  
(単品350円)  
ドリンクセット500円(珈琲・紅茶)

パンとパンではさんだら、ほら、サンドイッチ。「ああ、おいしい。」ということで、西淀川区内で食べられるタイプの違うサンドを2種類ご紹介。ともにテイクアウトのみです。



### 洋食屋さんの「玉子サンド」

#### キッチン中はら

包みを開けた瞬間から、ほんわかソースの香りがたふよう玉子サンド。トーストしたパンの間で、ふんわり焼きあげた玉子が存在感たっぷり。ピリ辛味のソースと玉子があわさって、一口ずつに満足感を味わえます。店内ではステーキ、ハンバーグ、ビーフシチューなどがあり、ランチメニューも豊富です。

所 西淀川区御幣島2-2-12

休 火曜日

営 11:30~14:00 / 17:30~ラストオーダー20:00

(※4名以上は要予約)

☎ 06-6478-2248

HP <http://tabelog.com/osaka/A2704/A270407/27037849/>

## 新連載 町工場の夕日 ~御幣島のひなやん編~

わたしの生まれ故郷、御幣島の思い出には、通称「どぶ川」(現在は緑陰道路に変身した大野川)のヘドロや廃液のニオイが混じる。実家が塗料会社だったこともあり、工場機械音の中、いろんな工程が見える場所で、目の前の荒縄や金具や危ない物でよく遊んだものだが、大人たちは穏やかに黙認していた。

昼休みになると、工場前で若い工員さんたちが一斉にキャッチボールを始める。事務所内は総じて茶色(木製机)、黒電話、そろばん、黒板とチョーク、スタンプ、伝票、はえ取り紙・・・天井の木目模様観察、ポットン便所の覗き込み、恐怖の五右衛門風呂、子どもには開け閉め出来なかった木製の冷蔵庫、ハタキと帚の音、隣接した会社

(サンヨー)のラジオ体操、近所の駄菓子屋、ロバのパン屋さん・・・などなど、まさに映画『3丁目の夕日』的光景だ。ちなみに他所から家に遊びに来た友人には「空気が悪くて頭がふらふらする」だの「ハナクソが黒いのはおかしい」だのと笑われた。「西淀川=公害の街」の子ども時代、劣悪な環境満載の

自分の過去vs現在との対比には隔世の感があり、そんな街の変貌は、時間の流れ方や感性や

人々の関係性のありようにも、大きな変化を伴ってきたのだなあ、とあらためて思う次第なり。

西川日奈子(NPO法人西淀川子どもセンター代表) 西淀生まれの西淀育ち「ひなやん」のコラムです。

## ありがとうございます

(2013年6月～2013年8月 敬称略・順不同)

### 入会

世界笑顔株式会社

### お助けボランティア

上野 友莉  
木村 一仁  
左成 志朗  
杉本 隆  
田中 敬祐  
萩野 功聖  
本多 彩乃  
松村 典俊  
横久保 直哉

安藤 聡彦  
松井 克行  
松田 毅  
藤岡 貞彦  
大門 信也  
藤本 典昭  
中島 晃  
酒井 健一  
秀平 吉朗  
蔵本 幸治  
遠地 昭典  
村松 昭夫  
羽柴 修

新田 保次  
石井 琢也  
塩貝 隆夫  
北泊 謙太郎  
山本 康子

### 寄附・寄贈者

進士 五十八  
藤江 徹  
島田 克彦  
高田 研

山崎スチール(株)  
道路環境市民塾  
全国環境教育ネットワーク事務局  
新潟水俣病共同会議  
イタイイタイ病協議会  
社会医療法人芳和会 水俣協立病院

## 緑道散歩

ミンミンゼミの成虫が、大野川緑陰道路で見つかりました。8月9日、セミのぬげがら調べに参加した小学生が見つけました。ミンミンゼミは、大阪府下では低山地ではぬげがらが見つかるのですが、大阪市内では見つかりません(大阪市内では幼虫時に過ぎないということ)\*。どこからかたどってきたのか、運ばれたセミが逃げたのか。緑道で生まれたセミだとしたら、大発見です。(\*大阪自然史博物館による)



## りべら No.130 2013年11月号(季刊1日、年4回発行)

発行所:公益財団法人公害地域再生センター(あおぞら財団)  
編集人:鎌山 善理子  
〒555-0013 大阪市西淀川区千舟1-1-1あおぞらビル4階  
TEL 06-6475-8885 FAX 06-6478-5885  
http://aozora.or.jp/ webmaster@aozora.or.jp  
デザイン:(株)パード・デザインハウス  
定価:一部400円(郵送料込)  
会員の購読料は会費に含まれています。  
本誌掲載記事の無断転載を禁じます。



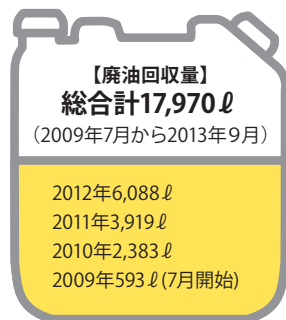
## 読者の声

あおぞら財団インターン(2013年夏)  
最高裁判所 司法研修所  
第66期司法修習生(名古屋修習)  
西谷 祐亮さん

私は、大学で環境法を勉強していたため、以前から環境NPOの活動の中から見たいと思っており、今回、念願叶って1週間お世話になりました。インターン期間中、大学生向けの環境教育実習や、行政との連携、都市交通の在り方を考える取組み等、様々な活動を拝見し、環境NPOが社会の中で多様な役割を果たしている存在だと感じました。短い期間でしたが、自分がどのような形で環境問題に関わっていくかを考える良い機会となりました。ありがとうございました。

## 西淀川菜の花プロジェクト

～エコでつながる西淀川～



現在西淀川区内外53箇所で、廃油を回収しています。回収団体募集中。詳しくはあおぞら財団まで。



西淀川菜の花プロジェクトブログ <http://nanohanany.blogspot.jp/>  
【エコでつながる西淀川推進協議会主催】  
●廃油キャンドルナイト in NY  
使い終わった天ぷら油で作ったキャンドルを灯します  
日程:12月22日(日)  
場所:大野川緑陰道路歌島橋付近、あおぞらイコバ  
16:30～17:30廃油キャンドルづくりワークショップ 17:45～キャンドル点灯式(20:00まで点灯)  
●廃油キャンドルづくりワークショップ  
日時:11月24日(日)午前の部10:00～ 午後の部13:00～(2時間程度)  
場所:あおぞら財団  
キャンドルナイトで使うキャンドルを作ります!  
汚れないようにエプロン等を持ってきてください。

## 読者の声募集

読者のみなさまの日ごろの活動や、アピールしたい事、またはあおぞら財団へのご意見や、りべらのご感想、あふれる西淀川愛など、多種多様な原稿を寄せていただければと思います。文字数は200字です。原稿は、表題を「読者の声投稿」としてE-mail(webmaster@aozora.or.jp)またはFAX(06-6478-5885)でお送りください。皆さまのご参加をお待ちしております。

## スタッフツイッター 編集後記

「自転車は車道」と言うけれど、いざ走ってみると、路上駐車いっぱい、右に行きたいのに、左折レーンに入ってもうた!どっちの信号見るの?とまあ、いろいろなことがおこります。でも走って見ないとその「いろいろ」はわからない、と最近実感している初心者です。これは一つの成長でしょうか?



広告

ディサービスセンター

# あおぞら苑

あおぞら御膳

あおぞらの湯

2006年10月1日にディサービスセンターあおぞら苑は産声を上げました。西淀川公害裁判で四半世紀命をかけて闘った患者さんや家族のみなさまの思いが、ひとつの形になったのがディサービスセンターあおぞら苑です。公害患者さんも高齢になり日々の生活を援助するために、また地域のみなさまが誰でも利用でき、「西淀川に住み続けて良かった。」と思えるようにとの思いがたくさん詰まった場所にしたいと思い設立しました。

【お問い合わせ】  
TEL:06-6475-0111 FAX:06-6475-0114  
URL:http://aozoraen.com/  
運営:NPO法人西淀川福祉・健康ネットワーク

◆あおぞら苑(事業所番号 2771001076)  
〒555-0032 大阪市西淀川区大和田5丁目7番14号  
開所曜日:月曜日～土曜日(祝日は開所) 利用人数:1日18人

◆あおぞら苑II(事業所番号 2771001407)  
〒555-0031 大阪市西淀川区出来島1丁目2番4号  
開所曜日:月曜日～金曜日 利用人数:1日20人

広告

# 油は捨てずにリサイクル!!!

## TEL 06-6411-3457

### 浜田化学株式会社

トカンぴん2号

## いつも、ご協力有難うございます。

## 〈広告募集〉企業・団体・個人の皆さま

より多くの方に「りべら」を知っていただくために、発行部数増にご協力ください。

「りべら」は、あおぞら財団が取り組む環境活動やまちの情報を伝える会員紙として、これまで年4回(季刊)発行し、あおぞら財団会員様をはじめ、公共施設・店舗・各種施設にて配布しています。紙面上では、大阪市西淀川区を中心に、環境問題や地域再生に取り組む様々な方々に登場いただき、環境の取り組みやまちづくり活動の輪をつなぎ、広げていきたいと思っております。今回、より多くの方に読んでいただけるよう、発行部数を増やしたいと考えております(1500部→3000部)。そのための印刷資金として、あおぞら財団の活動趣旨に賛同いただき、ともに環境活動に取り組んでいただける企業・団体・個人の皆さまから「広告費」という形での協賛をお願いできればと思います。いただいた資金は、本「りべら」の紙面の充実・印刷費として活用させていただきます。どうぞ、ご協力をお願いします。

【りべら広告掲載費】  
中面1/3頁:3万円/回  
中面全面:9万円/回  
お問合せ先:あおぞら財団まで